令和８年８月

「大学における教育とICT・生成AIに関する実態調査 2026」実施のご報告

日本福祉大学生活協同組合

大学生協では、本年 4 月～5 月に組合員の皆様に「大学における教育とICT・生成AIに関する実態調査」を実施いたしました。学生のICT環境・活用状況の実態を報告申し上げるとともに、現在、日本福祉大学生協で学生の学びを支える取り組みも合わせて報告申し上げます。

○「大学における教育とICT・生成AIに関する実態調査 2026」実施報告

１. 調査概要

- ✧ 調査実施時期　2026 年 4 月 27 日～5 月 24 日
- ✧ 調査対象　全国（大学生協のある大学）の学部生・大学院生
- ✧ 回収数　28,724 名（203 大学） うち本学学生は 1,519 名
- ✧ 調査方法　Web アンケート
- ✧ 調査項目概要　高校での授業、個人用デバイス保有・活用状況、授業・学習環境、パソコンスキル、パソコントラブル、電子教科書、生成 AI 利活用など

２. 集計結果

【全国結果】

総回答数	大学数
28,724	203

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		修士		博士	
男性	6495	53.8%	2280	18.9%	1530	12.7%	1114	9.2%	46	0.4%	24	0.2%	473	3.9%	115	0.9%
女性	8706	55.2%	3125	19.8%	1955	12.4%	1548	9.8%	49	0.3%	40	0.2%	290	1.8%	73	0.5%
他	441	51.3%	182	21.2%	118	13.7%	82	9.5%	2	0.2%	3	0.3%	21	2.4%	11	1.3%
総計	**15642**	**54.4%**	**5587**	**19.4%**	**3603**	**12.5%**	**2744**	**9.5%**	**97**	**0.3%**	**67**	**0.2%**	**784**	**2.7%**	**199**	**0.6%**

今回の調査では計 203 大学の生協より、学部 1 年生～大学院博士課程まで 28,724 名の回答をいただきました（大学数、回答者数いずれも過去 5 年間で最大）。男女比は、男性：42.0%(12,077 名） 女性：54.9%(15,786 名） 回答しない：2.9%(860 名）でした。学年構成比は、1 年生：54.4%（15,642 名） 2 年生： 19.4%（5,587 名） 、3 年生：12.5%（3,603 名） 4 年生：9.5%（2,744 名） 5 年生：0.3%（97 名） 6 年生：0.2%(67

名）大学院生修士：2.7%（784 名）博士 0.6%（199 名）でした。学問分野別では、文科系：53.2%（15,302 名） 理工系：34.8%（10,022 名） 医歯薬系：11.8%（3,399 名）でした。

【日本福祉大学結果】

日本福祉大学の学生からは 1,519 名の回答をいただきました。

1年生	比率	2年生	比率	3年生	比率	4年生	比率	大学院修士課程	比率	大学院博士課程	比率	全体の回答数
583	38.4%	394	25.9%	329	21.7%	212	14.0%	0	0.0%	1	0.1%	1,519

学部別	社福	教・心	スポ科	美浜計	健康科	工	半田計	経済	国際	看護	東海計	福祉経営	合計
回答数	295	221	284	800	84	32	116	381	147	73	601	2	1,519

3. 調査結果

【高校時代のデバイス保有状況】

	高校の準備したPCデバイス（貸与）	高校が指定し、購入したPCデバイス	高校ではPCデバイスを使用していない
日本福祉大学	46.1%	21.9%	32.0%
全国（自校除く）	47.1%	28.3%	24.6%
総計	**47.1%**	**27.9%**	**25.0%**

【高校時代のハードウェア利用】

＜日本福祉大学＞

高校時代のハードウェア利用	キーボード入力	ペン入力	音声入力	カメラ利用	教材類のダウンロード
01_大いに使用していた	49.4%	17.5%	2.7%	14.3%	13.9%
02_ときどき使用していた	34.0%	17.2%	8.1%	31.8%	26.2%
03_あまり使用しなかった	12.0%	23.3%	21.2%	27.0%	28.5%
04_使用しなかった	4.6%	41.9%	68.0%	26.8%	31.4%

＜全国（自校除く）＞

高校時代のハードウェア利用	キーボード入力	ペン入力	音声入力	カメラ利用	教材類のダウンロード
01_大いに使用していた	59.6%	12.2%	1.2%	15.0%	10.2%
02_ときどき使用していた	25.8%	13.4%	5.4%	38.8%	24.1%
03_あまり使用しなかった	11.0%	22.1%	16.7%	28.0%	32.2%
04_使用しなかった	3.6%	52.4%	76.7%	18.2%	33.5%

高校時代の ICT 利用実態についての調査中 3 割強の PC デバイス未使用との回答された方は受験科目に教科情報を未選択の傾向が強く、このあとの設問 PC スキルの高校時代の自己評価は貸与や購入層に比較して数ポイント低いものが多い傾向にありました。

【現在「自分用」として保有しているデバイス】

組み合わせ	1年生	2年生	3年生	4年生	大学院修士	大学院博士	合計
ノートパソコンのみ	5.3%	7.4%	4.6%	7.5%	#DIV/0!	0.0%	6.0%
スマートフォンのみ	6.0%	5.1%	4.3%	2.4%	#DIV/0!	0.0%	4.9%
タブレットのみ	0.3%	0.3%	0.6%	0.5%	#DIV/0!	0.0%	0.4%
ノートパソコン＆スマートフォン	58.8%	61.2%	63.2%	67.5%	#DIV/0!	100.0%	61.6%
ノートパソコン＆スマートフォン＆タブレット	26.1%	23.4%	24.3%	20.3%	#DIV/0!	0.0%	24.2%
ノートパソコン＆タブレット	0.3%	0.0%	0.3%	0.5%	#DIV/0!	0.0%	0.3%
スマートフォン＆タブレット	5.2%	3.2%	3.1%	1.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	3.6%
その他	2.0%	2.7%	2.5%	2.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	2.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%

何かしらのデバイスを保有しており、「ノートパソコン＋スマートフォン（＋タブレット）」は標準インフラになっていることが見て取れます。自分用パソコンの保有率は 93.0%となっています。また、ノートパソコンとタブレットの両方を持っている学生の比率は年々少しずつ上昇しており、今回は約 1/4 の学生が両方を自分用として持っていると回答しています。看護学部での電子教科書導入の影響もあると思われます。

【学生の授業の受け方】
※授業にどんなデバイスを持っていくか

授業へどんなデバイスを持っていくか	PC・タブレット（iPad等）の両方を持っていくことが多い	PCのみ持っていくことが多い	タブレットのみ持っていくことが多い	どちらも持っていかない	授業によって決めているのでどちらとも言えない	全体の 比率
日本福祉大学	16.7%	54.2%	10.8%	3.5%	14.8%	100.0%
全国（自校除く）	36.5%	31.6%	20.6%	1.8%	9.5%	100.0%
総計	**35.9%**	**32.2%**	**20.3%**	**1.9%**	**9.7%**	**100.0%**

【授業に関わる質問】

オンライン授業	必ずある	頻繁にある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	全体の 比率
日本福祉大学	4.1%	4.1%	31.4%	36.5%	23.9%	100.0%
全国（自校除く）	4.7%	9.6%	36.7%	30.7%	18.3%	100.0%
総計	**4.7%**	**9.3%**	**36.4%**	**31.0%**	**18.6%**	**100.0%**

デジタルデータ配布	必ずある	頻繁にある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	全体の 比率
日本福祉大学	12.4%	35.7%	33.9%	8.6%	9.3%	100.0%
全国（自校除く）	24.8%	54.6%	15.7%	3.0%	1.9%	100.0%
総計	**24.1%**	**53.6%**	**16.6%**	**3.3%**	**2.3%**	**100.0%**

デジタルデータ配布	2026年度		2025年度	
日本福祉大学	回答数	比率	回答数	比率
必ずある	189	12.4%	111	6.7%
頻繁にある	542	35.7%	434	26.2%
ときどきある	515	33.9%	622	37.6%
ほとんどない	131	8.6%	278	16.8%
まったくない	142	9.3%	211	12.7%

授業でのデジタルデータ配布は「必ずある」「頻繁にある」で全国では約８割、日本福祉大学では48.1%の回答をいただいています。昨年は、「必ずある」「頻繁にある」が32.9%でしたので、昨年との比較では15%以上増えています。

オンライン授業については、全国では約５割、日本福祉大学では60.4%が「ほとんどない」「まったくない」との回答をいただいています。

※デジタルでのノートテイク事情

デジタルノートテイクをおこなっているか	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
現在デジタルノートテイキングをおこなっている	14.5%	41.9%	40.5%
以前デジタルノートテイキングはおこなっていたが、現在はおこなっていな	25.7%	15.6%	16.1%
デジタルノートテイキングを利用したことはない	59.7%	42.5%	43.4%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

そのノートの取り方をしている理由	2026年度		2025年度	
日本福祉大学	回答数	比率	回答数	比率
紙のノートを使用することになれているから	866	47.0%	1110	58.7%
授業にパソコンやタブレットの持ち込みが禁止されているから	85	4.6%	82	4.3%
周りが紙のノートを使用しているから	121	6.6%	143	7.6%
資料がデータで渡されるから	382	20.7%	329	17.4%
板書やスライドを撮影して記録したいから	86	4.7%	97	5.1%
先生がパソコンやタブレットの利用を推奨しているから	64	3.5%	44	2.3%
周りがパソコンやタブレットを使用しているから	91	4.9%	87	4.6%
過去の講義資料などの管理がおこないやすいから	146	7.9%	0	0.0%

2025年ノートテイクについては紙・デジタルの併用についての設問としていました。（全国の回答は紙のみ44.8%、デジタルのみ26.0%、併用利用が19.7%）。

デジタルのノート利用をしていると回答した方は全国では本年４割を超える数値となり、大学生の学修スタイルとして定着してきています。本学では、今年度も紙のノート派が８割以上となっていますが、昨年と比較すると「紙のノートを利用することになれているから」が10%程度減少し、「資料がデータで渡されるから」「先生がパソコンやタブレットの利用を推奨しているから」がわずかながら増えています。また、新規選択肢「過去の講義資料などの管理がおこないやすいから」と回答した方が約８%おみえでした。

【教科書について】

現在の教科書使用状況	2025年度		2026年度	
日本福祉大学	回答数	比率	回答数	比率
ほとんど紙の教科書だけを使っている	774	46.7%	594	39.1%
どちらかと言えば紙の教科書を使っている	418	25.2%	362	23.8%
紙と電子の教科書の割合は半々	265	16.0%	292	19.2%
どちらかと言えば電子教科書を使う比率が高い	102	6.2%	159	10.5%
ほとんど電子教科書だけを使っている	97	5.9%	112	7.4%

※学部別

現在の教科書使用状況	社福	教・心	スポ科	健康	工	経済	国際	看護
ほとんど紙の教科書だけを使っている	39.7%	49.8%	20.8%	69.9%	46.5%	39.6%	43.8%	30.1%
どちらかと言えば紙の教科書を使っている	25.8%	26.2%	17.7%	15.1%	23.3%	27.6%	31.5%	4.1%
紙と電子の教科書の割合は半々	18.3%	14.9%	24.7%	13.7%	18.6%	20.7%	18.5%	15.1%
どちらかと言えば電子教科書を使う比率が高い	8.8%	5.0%	19.4%	0.0%	11.6%	7.6%	4.8%	34.2%
ほとんど電子教科書だけを使っている	7.5%	4.1%	17.3%	1.4%	0.0%	4.5%	1.4%	16.4%

今後、教科書をこういう使い方をしたい	2025年度		2026年度	
日本福祉大学	回答数	比率	回答数	比率
ほとんど紙の教科書だけ	457	27.6%	336	22.1%
どちらかと言えば紙の教科書を使ってほしい	319	19.3%	318	20.9%
紙と電子の教科書の割合は半々で	443	26.8%	416	27.4%
どちらかと言えば電子教科書を使う比率を高く	185	11.2%	193	12.7%
ほとんど電子教科書だけ使いたい	252	15.2%	256	16.9%

※学部別

今後教科書をこういう使い方をしたい	社福	教・心	スポ科	健康	工	経済	国際	看護
ほとんど紙の教科書だけを使う	22.4%	26.7%	15.5%	30.1%	32.6%	21.3%	23.3%	21.9%
どちらかと言えば紙の教科書を使っている	22.0%	24.9%	14.8%	23.3%	18.6%	22.0%	19.9%	21.9%
紙と電子の教科書の割合は半々	23.4%	22.6%	27.9%	35.6%	18.6%	30.4%	37.0%	17.8%
どちらかと言えば電子教科書を使う比率が高い	15.3%	11.3%	15.9%	6.8%	11.6%	10.5%	10.3%	17.8%
ほとんど電子教科書だけを使う	16.9%	14.5%	25.8%	4.1%	18.6%	15.7%	9.6%	20.5%
電子教科書に肯定的　小計	55.6%	48.4%	69.6%	46.6%	48.8%	56.7%	56.8%	56.2%

昨年から傾向に大きな変化はありませんが、「ほとんど電子教科書だけを使っている」「どちらかと言えば電子教科書を使う比率が高い」と回答した方が昨年度よりも増えました。看護学部１年生で電子教科書の導入が本格化したことが影響した結果と思われます。

本格導入が始まった看護学部の学生の皆さんからは「荷物がかさばらない」「すきま時間に勉強ができる」などおおむね好評の声が生協には届いています。電子教科書を使う比率を高くしたいという声は昨年よりもやや増え、電子教科書を「使う比率を高く」「ほとんど電子教科書だけ使いたい」の合計が約 30%となっています。

今後の教科書の使い方として、「半分は電子教科書利用を希望」まで含めると、56%の学生が電子教科書を使用したいと回答し昨年より３ポイント増えました。医療系学部を皮切りに全国的にも電子教科書採用が増えてきています。

【高校までのパソコンスキル】

レポート作成	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
よくできるほうだ	8.7%	9.9%	9.8%
できるほうだ	26.2%	31.6%	31.3%
あまり得意ではない	42.9%	35.6%	36.0%
不得意	15.7%	11.4%	11.6%
操作をおこなったことがない	6.5%	11.6%	11.3%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

パソコンによる情報収集	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
よくできるほうだ	10.9%	14.6%	14.4%
できるほうだ	34.8%	45.6%	45.0%
あまり得意ではない	38.8%	29.9%	30.4%
不得意	13.0%	7.0%	7.3%
操作をおこなったことがない	2.6%	2.9%	2.9%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

プレゼン	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
よくできるほうだ	7.6%	11.4%	11.2%
できるほうだ	28.3%	34.5%	34.2%
あまり得意ではない	41.5%	36.2%	36.5%
不得意	17.6%	11.7%	12.0%
操作をおこなったことがない	4.9%	6.2%	6.1%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

パソコン操作によるコミュニケーション（メールやチャットなど）	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
よくできるほうだ	8.4%	11.0%	10.8%
できるほうだ	26.8%	31.8%	31.5%
あまり得意ではない	42.5%	36.2%	36.5%
不得意	15.3%	10.8%	11.0%
操作をおこなったことがない	7.0%	10.3%	10.1%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

高校までに身につけたパソコンスキルについては、「パソコンを利用した情報収集」において、「よくできるほうだ」と「できるほうだ」を合わせると約半数を占めています。このことから、多くの学生がインターネット検索などを通して情報を集める経験を積んでいたことがうかがえます。

一方で、「レポート作成」「プレゼンテーション」「メールやチャットによるコミュニケーション」については、肯定的な評価が35%前後にとどまり、「あまり得意ではない」「不得意」と回答した学生も少なくありません。

このことから、情報検索には比較的慣れている一方で、収集した情報を文書や発表資料

としてまとめたり、適切に発信したりする実践的なパソコン活用能力には課題が残っていると考えられます。

【現在のパソコンスキル】

レポート作成	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
よくできるほうだ	9.4%	15.1%	14.8%
できるほうだ	35.3%	43.2%	42.8%
あまり得意ではない	40.8%	32.5%	33.0%
不得意	12.7%	6.8%	7.1%
操作をおこなったことがない	1.8%	2.4%	2.4%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

パソコンによる情報収集	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
よくできるほうだ	10.7%	18.2%	17.8%
できるほうだ	39.0%	50.3%	49.7%
あまり得意ではない	38.0%	26.0%	26.6%
不得意	10.5%	4.7%	5.1%
操作をおこなったことがない	1.8%	0.8%	0.8%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

プレゼン	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
よくできるほうだ	8.2%	14.2%	13.9%
できるほうだ	32.9%	38.7%	38.4%
あまり得意ではない	40.9%	33.7%	34.1%
不得意	14.1%	7.6%	8.0%
操作をおこなったことがない	3.9%	5.8%	5.7%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

パソコン操作によるコミュニケーション（メールやチャットなど）	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
よくできるほうだ	9.1%	15.2%	14.8%
できるほうだ	32.7%	40.5%	40.1%
あまり得意ではない	41.7%	33.9%	34.4%
不得意	12.4%	7.1%	7.4%
操作をおこなったことがない	4.0%	3.3%	3.4%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

大学入学後のパソコンスキルは高校までの結果と比較すると全体的に向上しています。大学入学後に高校までよりもパソコンを使った学修の機会が増えていることが影響しているとみています。

「レポート作成」、「パソコン操作によるプレゼンテーション」および「メールやチャットによるコミュニケーション」について、肯定的な評価はそれぞれ 44.7%、41.1%、

41.8%と4割以上を占めている一方で、「あまり得意ではない」と回答した学生がそれぞれ40.8%、40.9%、41.7%存在しており、レポート作成やパソコンを使ったプレゼン、パソコン操作によるコミュニケーションに自信を持てていない学生が一定数存在していることがうかがえます。

また、学年別にみると、2年生から4年生にかけて「よくできるほうだ」「できるほうだ」の割合が高くなる傾向がみられました。これは、大学での学習や演習、発表機会を通じてパソコン活用能力が向上していることを示していると考えられます。さらに、高校までの結果では一定数存在していた「操作をおこなったことがない」という回答は、2年生以上ではほとんどみられなくなっており、大学での学習を通じてパソコンに触れる機会が確保されていることがわかります。

【プレゼン作成の困りごと】

プレゼン作成の困りごと（複数回答可）	2026年度		2025年度	
日本福祉大学	回答数	比率	回答数	比率
発表資料の作成	608	25.7%	463	30.0%
PowerPointなどの操作方法	434	18.4%	280	18.2%
話し方・伝え方（うまく伝わらない）	776	32.8%	539	35.0%
オンラインでのプレゼンの資料の共有方法	182	7.7%	96	6.2%
オンラインでのプレゼンの場合の、ZoomやTeamsの操作	188	7.9%	84	5.4%
その他	177	7.5%	80	5.2%

【レポート作成の困りごと】

レポート作成の困りごと（複数回答可）	2026年度		2025年度	
日本福祉大学	回答数	比率	回答数	比率
レポート作成方法	560	24.0%	630	24.3%
Word、Excel、PowerPoint等の使い方	622	26.7%	629	24.2%
タイピング	375	16.1%	440	16.9%
メールやオンラインでの提出方法	261	11.2%	334	12.9%
プリンタやスキャナ等の周辺機器接続方法や使い方	218	9.4%	235	9.1%
特にない	270	11.6%	304	11.7%
その他	24	1.0%	24	0.9%

プレゼン作成、レポート作成ともに困りごとの傾向に大きな変化はありませんが、プレゼン作成の困りごとの中で、「発表資料の作成」は昨年度よりも５%程度、困りごととして挙げる人が減っています。後述する生成AIの活用や、Canva等でのプレゼン作成が浸透しつつある影響ではないかとみています。

【自分自身の向上のために身に着けたい能力】

自分自身の向上のために身に着けたい能力（複数回答）	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
Word	15.5%	11.1%	11.3%
Excel	17.4%	13.7%	13.9%
PowerPoint	16.0%	11.3%	11.5%
OneNote等のノートアプリ	2.0%	2.7%	2.7%
OneDrive・DropBoxのようなクラウドアプリ	2.1%	3.2%	3.2%
英会話や英語検定（TOEIC/TOEFLなど含む）	5.6%	9.9%	9.7%
英語以外の外国語会話や検定	2.6%	3.9%	3.8%
レポート作成スキル	9.2%	9.0%	9.0%
プレゼンテーションスキル	8.3%	9.4%	9.4%
プログラミング	4.1%	5.9%	5.8%
データサイエンス	1.9%	3.6%	3.5%
AI（Chat GPTなどの生成AIの使用方法含む）	4.6%	5.9%	5.8%
動画の作成・編集	6.0%	6.1%	6.1%
スポーツや身体的能力	3.7%	3.7%	3.7%
その他	0.9%	0.6%	0.6%
全体の 回答数	6,430	142,497	148,927
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

日本福祉大学（複数回答可）／学年別

	1年生	2年生	3年生	4年生	大学院修士	大学院博士	合計
Word	70.3%	66.0%	63.2%	57.1%	#DIV/0!	0.0%	65.8%
Excel	70.5%	76.6%	74.8%	74.5%	#DIV/0!	100.0%	73.6%
PowerPoint	69.5%	68.8%	68.7%	59.4%	#DIV/0!	100.0%	67.7%
OneNote等のノートアプリ	13.0%	5.6%	5.8%	4.7%	#DIV/0!	100.0%	8.4%
OneDrive・DropBoxのようなクラウドアプリ	12.2%	7.9%	4.9%	7.1%	#DIV/0!	100.0%	8.8%
英会話や英語検定（TOEIC/TOEFLなど含む）	27.6%	22.6%	20.4%	20.3%	#DIV/0!	100.0%	23.8%
英語以外の外国語会話や検定	15.1%	9.9%	7.3%	7.1%	#DIV/0!	100.0%	11.0%
レポート作成スキル	44.6%	36.5%	38.0%	29.2%	#DIV/0!	100.0%	39.0%
プレゼンテーションスキル	38.3%	34.8%	32.2%	32.5%	#DIV/0!	100.0%	35.3%
プログラミング	22.3%	12.7%	17.0%	11.3%	#DIV/0!	100.0%	17.2%
データサイエンス	10.6%	6.3%	7.3%	6.1%	#DIV/0!	100.0%	8.2%
AI（Chat GPTなどの生成AIの使用方法含む）	22.8%	16.0%	20.1%	16.0%	#DIV/0!	0.0%	19.5%
動画の作成・編集	29.8%	23.6%	23.7%	20.8%	#DIV/0!	0.0%	25.6%
スポーツや身体的能力	20.1%	12.4%	13.4%	12.3%	#DIV/0!	0.0%	15.5%
その他	6.3%	2.5%	1.5%	3.3%	#DIV/0!	0.0%	3.9%

全国結果と比較すると、Word、Excel、Powerpoint のスキルを身に着けたいと回答した学生の割合が高くなっています。レポート作成では Excel 利用によるグラフ・表使用といった複合的な作成スキルを求めていると想定できます。

1 年生では 3 割弱、2～4 年生で約 2 割が、「英会話や英語検定（TOEIC/TOEFL などを含む）」を身に着けたい能力として回答しています。

【生成 AI 活用について】
※使ったことがある生成 AI サービス

ChatGPT	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
有料サービス	2.4%	2.7%	2.7%
無料サービス（以前は有料サービスを利用）	3.9%	2.5%	2.6%
無料サービス	86.0%	84.0%	84.1%
大学・研究所などから提供されている	0.4%	1.2%	1.2%
使ったことがない	7.2%	9.5%	9.4%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

Copilot	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
有料サービス	0.7%	1.0%	1.0%
無料サービス（以前は有料サービスを利用）	1.3%	0.7%	0.7%
無料サービス	20.7%	38.3%	37.4%
大学・研究所などから提供されている	0.6%	6.3%	6.0%
使ったことがない	76.6%	53.7%	54.9%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

Gemini	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
有料サービス	1.5%	4.2%	4.0%
無料サービス（以前は有料サービスを利用）	2.4%	1.3%	1.4%
無料サービス	54.5%	58.7%	58.5%
大学・研究所などから提供されている	1.8%	3.2%	3.1%
使ったことがない	39.7%	32.6%	33.0%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

NotebookLM	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
有料サービス	0.5%	1.2%	1.1%
無料サービス（以前は有料サービスを利用）	1.1%	0.4%	0.5%
無料サービス	10.8%	10.3%	10.3%
大学・研究所などから提供されている	0.3%	0.9%	0.9%
使ったことがない	87.4%	87.2%	87.2%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

Claude	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
有料サービス	0.6%	0.9%	0.9%
無料サービス（以前は有料サービスを利用）	1.1%	0.5%	0.5%
無料サービス	13.6%	11.4%	11.6%
大学・研究所などから提供されている	0.3%	0.4%	0.4%
使ったことがない	84.4%	86.8%	86.7%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

Perpiexity	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
有料サービス	0.4%	0.3%	0.3%
無料サービス（以前は有料サービスを利用）	1.1%	0.4%	0.5%
無料サービス	8.2%	6.6%	6.7%
大学・研究所などから提供されている	0.1%	0.1%	0.1%
使ったことがない	90.3%	92.6%	92.5%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

Manus	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
有料サービス	0.6%	0.2%	0.2%
無料サービス（以前は有料サービスを利用）	1.0%	0.3%	0.3%
無料サービス	7.4%	4.2%	4.3%
大学・研究所などから提供されている	0.1%	0.1%	0.1%
使ったことがない	90.9%	95.3%	95.0%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

Grok	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
有料サービス	0.4%	0.3%	0.3%
無料サービス（以前は有料サービスを利用）	1.1%	0.3%	0.4%
無料サービス	18.8%	17.9%	18.0%
大学・研究所などから提供されている	0.1%	0.1%	0.1%
使ったことがない	79.5%	81.4%	81.3%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

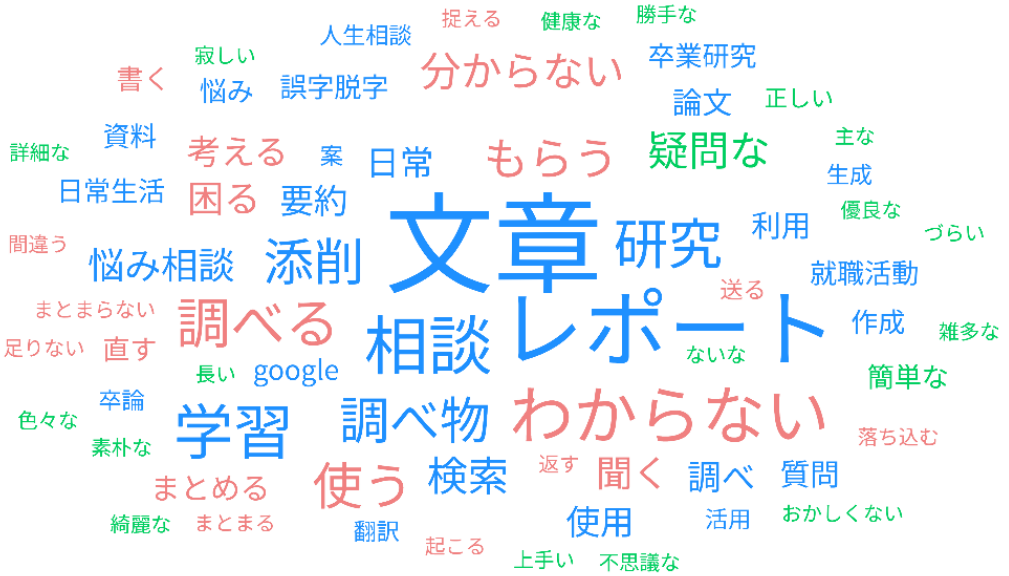
Genspark	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
有料サービス	0.5%	0.2%	0.2%
無料サービス（以前は有料サービスを利用）	1.0%	0.3%	0.3%
無料サービス	8.0%	4.9%	5.1%
大学・研究所などから提供されている	0.2%	0.1%	0.1%
使ったことがない	90.4%	94.5%	94.3%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

生成 AI の利用は ChatGPT に大きく集中していることがわかりました。ChatGPT は約 9 割（92.7%）の学生が利用経験をもち、その多くが無料版を利用と回答していました。次いで Gemini が約 6 割、Copilot と Grok が 2 割前後の利用率であり、主要な生成 AI として一定程度普及していることが示されました。本学では「Copilot」、「Gemini」は本学アカウントで利用可能な生成 AI サービスとして学生さんに案内されており、知名度に加えこの案内の影響もあり利用経験が高いものと思われます。一方で、Claude、NotebookLM の利用率は比較的低く、利用経験者は 15%前後にとどまりました。また、Manus や Perpiexity、Genspark は少数派ではあるものの、全国結果よりも利用経験のある学生の割合は高くなっています。学年別では、高学年ほど利用率が高い傾向がみられ、学習や就職活動の中で生成 AI を活用する機会が増えていることがうかがえます。

＜日本福祉大学生の生成 AI サービスの利用用途について＞
自由記述での回答で、全体を見ると、利用目的は主に以下の 5 つに集中しています。

学習・課題支援
調べもの・情報収集
文章作成・添削
相談・壁打ち
翻訳・語学学習

特に、レポート作成支援、文章添削、分からないことの検索、勉強の補助として利用しているケースが多く、次いで相談相手や日常生活のサポートとして活用していることが分かります。画像生成や創作活動は一部の利用者に見られますが、全体では補助的な用途でした。一定数「使ったことがない」「利用していない」「使い方がわからない」という回答も見られました。
1.2 年生では学修だけでなく日常生活の疑問を調べたりスケジュールや計画立案、服装のアドバイスなど日常生活のサポートに使う人も多い傾向ですが、学年が上がると就職活動や卒業研究への利用が増えてくる傾向がコメントからうかがえました。



【学習・研究における生成 AI 利用についての不安度】

学習・研究における生成AI利用についての不安度	日本福祉大学	全国（自校除く）	総計
1	7.8%	5.0%	5.1%
2	5.0%	4.7%	4.7%
3	10.8%	12.8%	12.7%
4	11.7%	12.8%	12.8%
5	25.0%	20.3%	20.6%
6	13.6%	14.9%	14.8%
7	13.6%	15.3%	15.3%
8	6.3%	8.8%	8.7%
9	2.4%	2.2%	2.2%
10	3.8%	3.0%	3.1%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%

学習・研究における生成AI利用についての不安度 **学年別　日本福祉大学**	1年生	2年生	3年生	4年生
1	7.5%	10.2%	6.7%	5.7%
2	4.8%	5.1%	4.9%	5.7%
3	10.5%	13.7%	8.2%	10.4%
4	12.3%	10.9%	13.4%	9.0%
5	28.5%	22.3%	23.7%	21.7%
6	11.8%	14.5%	14.6%	15.6%
7	12.9%	12.4%	15.5%	15.1%
8	5.7%	5.6%	7.6%	7.1%
9	2.4%	1.8%	2.4%	3.8%
10	3.6%	3.6%	3.0%	6.1%
全体の 比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

1（不安が小さい）から 10（不安が大きい）で回答頂いています。

生成 AI サービスへの不安度は低すぎず、高すぎず、長所・短所を理解できていることが重要となります。調査でも中央値に近い層が利用方法の詳細記入いただいている方が多数いらっしゃいました。

学年別にみると、1・2 年生では「5」や「6」といった中程度の回答が多くみられました。一方、3、4 年生では「7」「8」の割合が 1.2 年生に比べて増えています。これは、生成 AI を実際のレポート作成や卒論、卒研で利用する機会が増え、著作権や情報の正確性、倫理的な問題について意識するようになったためと考えられます。4 年生では「9」「10」の割合がほかの学年よりも増え、不安を感じる学生が増加する傾向がみられました。生成 AI の利便性と同時にリスクを理解しながら活用している様子がうかがえます。

【パソコンを使用していてのトラブル】

	1年生	2年生	3年生	4年生	大学院修士	大学院博士	合計
アプリやサービスの使い方がよくわからなかった	24.5%	17.3%	19.5%	18.5%	#DIV/0!	0.0%	20.6%
ウイルスに感染した	3.0%	1.9%	2.6%	1.5%	#DIV/0!	0.0%	2.4%
電源が入らない	3.0%	8.1%	3.8%	10.2%	#DIV/0!	0.0%	5.5%
物理的な故障や破損（液晶割れ等）	3.3%	2.7%	13.1%	13.7%	#DIV/0!	0.0%	6.8%
ネットワークにつながらなくなった	7.1%	8.6%	10.5%	8.3%	#DIV/0!	0.0%	8.4%
PCに飲み物をこぼしてしまった	0.2%	1.1%	1.6%	2.4%	#DIV/0!	0.0%	1.0%
盗難にあった	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	#DIV/0!	0.0%	0.1%
その他	5.4%	5.9%	6.4%	8.3%	#DIV/0!	0.0%	6.2%
特にない	72.4%	70.4%	60.1%	53.2%	#DIV/0!	100.0%	66.4%

※トラブルをどう解決したか

PCトラブル解決	2026年度		2025年度	
日本福祉大学	回答数	比率	回答数	比率
生協へ相談（生協を通じて修理）	145	8.6%	116	6.3%
家電量販店等に相談	57	3.4%	47	2.6%
友人・家族に相談（友人・家族経由で修理）	176	10.5%	187	10.2%
電話で相談	26	1.5%	25	1.4%
自力で解決（ネットで調べるなどし）	261	15.5%	281	15.4%
何もしていない（トラブルを放置）	82	4.9%	70	3.8%
その他	42	2.5%	45	2.5%
トラブルはない	893	53.1%	1058	57.8%

PC のトラブル、「電源が入らない」は 4 年生で 10%を超え、「物理的故障」は 3 年生以上 13%オーバーと経年により、発生割合は増加の傾向にあります。解決方法は 25 年と大きな変化はありませんが、購入率の高い大学生協に相談いただけるよう引き続き案内をすすめてまいります。

PC購入先	2026年度		2025年度	
日本福祉大学	回答数	比率	回答数	比率
大学生協	553	38.7%	590	37.3%
家電量販店の店舗	453	31.7%	483	30.5%
パソコン専門店（メーカー直営路面店等）	0	0.0%	115	7.3%
オンラインショップ等のWeb通販(Amazon等)	185	12.9%	163	10.3%
Apple、Dell、Fujitsu、HP等メーカー直販サイト	122	8.5%	115	7.3%
知り合いからいただいた等	51	3.6%	48	3.0%
その他	65	4.5%	69	4.4%

■2 年生以上にお聞きします。大学で、学びたいことが学べているという充実感がありますか？

	2026年度		2025年度	
	日本福祉大学	全国	日本福祉大学	全国
充実感がある	24.0%	36.5%	28.8%	35.8%
まあ充実感がある	62.2%	54.6%	58.8%	54.9%
あまり充実感がない	11.8%	7.7%	9.9%	7.9%
充実感がない	2.0%	1.3%	2.5%	1.4%

今年度は 86.2%の学生が「充実感がある」「まあ充実感がある」と回答しています（昨年87．6%）。

◆日本福祉大学独自設問（回答者数 1,519 名）

□オンデマンド授業を受講する時の姿勢について、あなたの取り組み姿勢に近いものを 1 つ回答してください

オンデマンド授業を受講する時の姿勢	2026年度	2025年度	2024年度
全体的に集中し、一度で全て視聴した	30.9%	30.8%	25.2%
全体的に集中して視聴し、聞き取れなかったところは、時間を戻して視聴した	22.3%	23.8%	23.9%
ほとんどの時間は集中して視聴していたが、映像を流しただけで、しっかりと視聴していない時があった	34.6%	33.3%	31.9%
ほとんどの時間で、映像を流しただけで、しっかりと視聴していなかった	9.3%	8.7%	10.7%
映像は流しているだけで、基本的に視聴していない	2.9%	3.3%	2.8%
オンデマンド授業を受けたことはない	―	―	5.4%

昨年に続き、半数以上の学生が全体的に集中して視聴したと回答しています。ほとんどの時間集中して視聴した人を含めると、約 88%の人が全体的あるいはほとんどの時間集中して視聴したと回答しています。

□オンデマンド授業の学びやすさについて、(同じ内容が対面授業であった場合と比べて)近いものを選んでください

オンデマンド授業の学びやすさについて	2026年度	2025年度	2024年度
対面授業よりも学びやすいと感じた	18.1%	18.4%	19.7%
対面授業よりもどちらかというと学びやすいと感じた	22.8%	21.0%	19.0%
対面授業と同じくらいの学びやすさだと感じた	28.7%	30.3%	25.4%
対面授業よりもどちらかというと学びにくいと感じた	20.9%	19.5%	18.7%
対面授業よりも学びにくいと感じた	9.5%	10.9%	11.3%
オンデマンド授業を受けたことはない	ー	ー	5.8%

こちらも昨年と傾向は大きく変わらず、対面授業よりも学びやすい、どちらかというと学びやすいと答えた学生が約 4 割、同じくらいの学びやすさと答えた学生も含めると約 7 割(69.6%)の学生がオンデマンド授業の学びやすいさに肯定的な評価しています。

□メディア授業を進める際、教室や設備などハード面で改善が必要な事項はありますか？自由にご記入ください。

＜社会福祉学部＞
充電スペースを増やして欲しい
暖房機能
Wi-Fi が混み合うと重いです。
わかりやすくしてほしい
ネット環境
レジュメ資料配布があるとテスト勉強できる
音声の聴き取りやすさ

＜教育・心理学部＞
時間がかかる
ネット環境
動画が長すぎる
ネットに繋がる所でしか見れない
SPSS を利用するときに学内に設置した PC で作業できないのは不便だ。
充電のポート

＜スポーツ科学部＞
オンデマンド授業を進める際は、教室ではなく自宅ですることが多いことと、スケジュールが組みにくい。
Wi-Fi がうまく繋がらない。
Wi-Fi がスムーズに携帯につながれば良いと感じる。

＜健康科学部＞
トイレの数を増やして欲しい
文字や図が見えない時がある。

＜経済学部＞
プロジェクターが薄くて、少し見にくい時がある。

回線が悪いとラグがあったり声が途切れたりするからその改善があるといいかなと思う
喋るの遅すぎるから、倍速が欲しい
コンセント欲しい
ネットワークの改善
周りから見えない方がいい
コンセントが少ない
充電設備がしょぼい
自由すぎると集中できない
腰が痛くなる
静かな所
Wi-Fi が弱い
大学のインターネットが不安定
Wi-Fi 接続ができない時があると面倒
学校にいる時に、たまにネットに繋がらないときがあるので改善して欲しい
充電できるとこを増やして欲しい

＜国際学部＞
どうしてもラグが生じてしまう。
広い場所が欲しい
メディア授業をより円滑に進めるために、教室の Wi-Fi 環境の安定化や、パソコン・プロジェクターなどの設備の更新が必要だと思います。また、充電設備を増やしていただけると助かります。
As a foreign student it was little difficult to understand the flow of the lesson
I am getting nervous it's good but am shy
Wi-Fi の接続をもっと安定させてほしいです。また、プロジェクターやパソコンなどの設備を新しくしてほしいです。
オンライン授業では、安定した Wi-Fi や、マイク・スピーカー・カメラなどの設備をよくすることが大切だと思います。また、静かで集中できる教室も必要だと思います。後は漢字が読めないのでフリガナも必要だと思います。
Wi-Fi 環境をもっと安定させてほしいです
メディア授業をより快適に進めるために、Wi-Fi 環境の改善や通信の安定性を高めることが必要だと思います。また、パソコンや周辺機器の性能向上や、トラブル時のサポート体制の充実も重要だと考えます。
充電できるもの
Wi-Fi 環境やプロジェクターなどの設備をもっと使いやすくしてほしいです。
分からない時お互い質問できないから
安定したインターネット環境の整備や、機材トラブル時のサポート体制の強化が必要だと感じます。また、教室の音響や設備の使いやすさについても、改善の余地があると思います。

＜看護学部＞
とにかく Wi-Fi が弱い。3 年になってから N 棟の電波障害が多く発生していると感じる。
椅子がかたい

□メディア授業を進める際、サポート体制などソフト面で改善が必要な事項はありますか？自由にご記入ください。

＜社会福祉学部＞
わかりやすくしてほしい
時間が経つとタイムアウトしてレポートを提出できなくなる場合があるのでタイムアウトまでの時間を長くしてほしい

＜教育・心理学部＞
ラグが多かった
データが古すぎるため、2、3 年に一回作り直してほしいです。
古すぎて頭にも入らないし興味も湧かないので今のオンデマンド授業は受けるつもりはないです。
WindowsApp から学内のデスクトップに入ると操作が重く不便である。
Wi-Fi が重い

＜健康科学部＞
講義で取り扱う建築系ソフトを一度見直して欲しいって 1.2 年生が言っていたと風の噂で聞きました。

＜経済学部＞
事務室は頼りにならなあ
問題ちゃんと作った方がいい
対面もオンラインも話すのがゆっくりだし書いてあること読み上げてるだけのことも多いし無駄も多くすっごく眠くなり寝てしまう
受講期限が近づいていることを知らせるシステムなどあればもっと良い

＜国際学部＞
サポートが薄い
地震の授業で何度やり直しても正解にならず全ての組み合わせを試してもだめだった問題があった。
サポート体制として、トラブルが発生した際にすぐ対応できるサポート窓口の強化が必要だと思います。また、授業で使用するツールの使い方についてのガイドや研修があると、よりスムーズに学習できると思います。
I know the class is in japanese which was difficult for me to understand but other than that it was pretty good for the time
It’s good but it didn’t loose my nervous
トラブルがあったときのサポートをしてほしいです。また、使い方の説明やガイドを分かりやすくしてほしいです。
オンライン授業を進める際は、先生からのわかりやすい説明や、早い対応が大切だと思います。トラブルがあった時にすぐ相談できるサポート体制があると安心です。また、授業資料を簡単に確認できるようにすると、もっと勉強しやすくなると思います。
サポートをもっと分かりやすくしてほしいです。また、困ったときにすぐ相談できるたいせいがあるといいです。
メディア授業をスムーズに進めるために、トラブル時にすぐ対応してくれるサポート体制の強化が必要だと思います。また、使い方に関する分かりやすい説明やガイドの充実も重要だと考えます。
MacBook にも screen touch 出来るようになって欲しいです
授業中に困った時、すぐ相談できるサポート体制があると良いと思います。
授業中にトラブルが発生した際のサポート対応をもう少し迅速にしていただけると助かります。
また、操作方法や授業内容に関する案内を事前に分かりやすく共有していただけると、より安心して受講できると思います。

＜看護学部＞
Wi-Fi 強くしてください。
椅子がかたい
テストを中断してしまうと中断した時間も計測されてしまっていること。
MacBook は他のパソコンと操作方法が違う時があるから、その点は抑えてもらいたいと思うことがあ

る。

＜福祉経営学部＞
音質　はっきりした声、よく聞こえる声、抑揚のある声でないと学習効率が落ちる

〇お願い
　今年度も、大学生協にて全国規模で「大学における教育と ICT に関する実態調査」を実施しました。日本福祉大学の状況を全国の大学と比較することのできるデータとなっています。このご報告を、情報教育を担当される教員の皆様にもさせていただきたいと思っております。また当生協よりご報告する中で、先生方の困ってらっしゃること・学生の状況をお聞きし、生協でもっとお役に立てることがないか、考えてまいりたいと思っております。各学部のご担当の先生をご紹介いただきたく、お願いいたします。
　大学では個人のパソコンを持つことが当たり前の時代になり、今後パソコンスキルの差が勉学・研究・就職活動等でより顕著に表れていくと予想されます。当生協でも大学での学習環境やニーズの変化に合わせ、各種サポート対応をより充実させるよう努めてまいります。

以上

【本件に関するご連絡先】
日本福祉大学生活協同組合
本部　丹羽・池戸
coop-hf@ml.netnfu.ne.jp